

## 愛知県における臨床検査の標準化について

◎佐野 俊一<sup>1)</sup>  
愛知医科大学病院<sup>1)</sup>

【はじめに】愛知県では、県内医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的に、平成15年5月、愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization ; AiCCLS）が設立された。

【標準化を推進するための仕組みと組織】AiCCLSの構成団体は、（公社）愛知県医師会、（一社）愛知県病院協会、（公社）愛知県臨床検査技師会、愛知県保健医療局、愛知県内4大学病院で、理事会、推進委員会、実務委員会調整会議、実務委員会の組織からなる。令和6年7月現在、142施設（正会員117施設、賛助会員25施設）がAiCCLSに会員登録している。

【AiCCLSの推進事業】①標準化操作法マニュアルの作成および啓発、②共通基準範囲の設定と公示・普及、③愛知県医師会、愛知県臨床検査技師会が行う精度管理調査の支援、問題のある施設が改善対策を講ずるための支援、④その他、臨床検査の標準化に必要な諸事業の推進・支援

【主な成果】①愛知県臨床検査値統一化ガイドライン：19種25編（下表参照）、リーフレット：34編、アトラス：7編、発刊（令和6年7月現在）、②「JCCLS 共用基準範囲」の推奨および普及活動開始（平成28年7月）、ALP・LDの測定法変更啓発（令和2年1月）、④「検体検査の品質・精度の確保に関する医療法等の改正」に対応した勉強会（よろずセミナー）開催（令和元年5月～11月）、遺伝子・染色体検査部門調査報告（平成29年3月）、凝固検体取り扱いに関する調査報告（令和3年7月）、医学検査学会における啓発ブース設置、動画を活用した情報（輸血検査手順：交差適合試験はじめ10種類）の提供（令和2年6月）。

【これから】「輸血検査における標準手順書 第3版」は、動画サイトへのリンクにより臨場感が向上した（発刊物の電子版、WEB配信へ）。クリニック・小規模施設から総合病院・大学病院、試薬・機器メーカーまでが会員である強みを活かし、臨床検査の有効活用を推進していきたい。

発刊日	愛知県臨床検査値統一化ガイドライン
平成18年 1月	臨床化学検査24項目（基準範囲）
平成18年11月	日常微生物検査における標準手引書
平成20年 7月	Papanicolaou 染色のガイドライン
平成21年 3月	病理組織学的検査 標準作業書【検体受付から薄切】
平成21年 3月	遺伝子検査検体取り扱いガイドライン
平成21年11月	個人情報の保護および漏えい事故防止の対策
平成21年11月	輸血検査における標準手順書 第1版
平成22年 3月	臨床化学検査の手引書 ー分析前段階ー
平成22年 8月	免疫学的便ヘモグロビン検査の手引書
平成25年 3月	CBCの誤差要因と対策
平成25年 7月	医療従事者の健康管理と環境管理
平成26年 4月	輸血検査における標準手順書 第2版
平成27年 1月	呼吸機能検査の手引書
令和元年 4月	臨床化学検査 第2版
令和 2年 3月	尿定性検査の手引書
令和 2年 9月	CBC の誤差要因と対策 第2版
令和 2年10月	輸血検査における標準手順書 第3版
令和 3年10月	臨床化学検査における試薬検討の基礎知識
令和 5年 9月	脳波検査における手引書